

科目名	マーチング実習	形態	実習	開講期	春学期
担当教員	梶山 宇一	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

行進をしながら楽器を持って演奏するという古典的なマーチングから、芸術性を重視し、ショー構成を意識した現代的なものまで幅広い分野のマーチングを紹介。実際に実技演習をすることで、動きの基礎知識を学ぶ。マーチングコンテを実際に書いてみることで、運動会やコンテストでのドリルコンテ作成に必要な専門的な知識を知る。ウエストサイド物語、ブラスト、シルクドソレユ、マイケルジャクソン、マーチング全国大会などの映像から、現代芸術における視覚効果と聴覚効果との融合が生み出す新しい可能性を知る。西洋と東洋、スポーツと音楽、現代と昔など、性質の違う二つの要素を融合することの意義を勉強する。

＝履修の条件と学習の方法＝

午前中は講義、午後からは実技。実技授業の際は、ジャージもしくは動きやすい服を着用し、運動靴か体育館シューズを用意すること。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 視覚的効果と聴覚的効果の融合
- 3回 資料映像：ウエストサイド物語
- 4回 マーチング実技：楽器の構え方、方向転換、歩き方
- 5回 現代におけるマーチングの方向性
- 6回 資料映像：DCI（マーチング世界大会）
- 7回 マーチング実技：マーチング応用編1（L字）
- 8回 マーチングの将来（西洋と東洋、現代と昔、異文化の融合）
- 9回 資料映像：リバーダンス、吉田兄弟、マイケルジャクソン
- 10回 マーチング実技：マーチング応用編2（コンテスト編）
- 11回 マーチングコンテの書き方1
- 12回 スポーツと音楽の融合
- 13回 資料映像：シルクドソレユ
- 14回 マーチング実技：マーチング応用編3（音楽に合わせて動く）
- 15回 マーチングドリルコンテの書き方2

＝成績評価の方法と評価の基準＝

マーチングの基本的動作が習得できているか。
マーチングドリルコンテの書き方を理解できているか。
授業で話した内容を理解し、マーチングの知識を習得できているか。

＝テキスト（必携）＝

特になし